

清水邦夫 & 秋元松代 を読む!

スケジュール



司会進行:キタモトマサヤ(遊劇体)
ファシリテーター:川口典成(ピーチャム・カンパニー)

- 清** リーディング上演 清水邦夫「署名人」
演出:南出謙吾
出演:山本祐也 / 谷屋俊輔 / 勝山修平 / 磯淵良幸 / とだ直史 / 延命聡子
- 秋** リーディング上演 秋元松代「ことづけ」
演出:森本洋史
出演:八田麻住 / 武田倫和 / 上野鷹秋 / 土見容子 / 吉村篤生 / 岩本侑樹
デカルコ・マリィ / あちあきこ
- ★ シンポジウム & ディスカッション
清水邦夫 講師:森下昌秀(戯人舎)
- ★ シンポジウム & ディスカッション
秋元松代 講師:山縣照(神戸大学名誉教授)

料金:1,000円 ※1日全演目、1演目のみも同額 ※日本演出者協会会員は無料 会場:未来ワークスタジオ

■日本演出者協会とは

1960年に設立された日本における唯一の専門的舞台演出家の協会です。『社会的経済的芸術的地位の確立、芸術的能力の向上のための研究・芸術上の相互援助をはかることを通じて日本演劇の発展に資する』ことなどを目的として設立されました。

■戯曲研修セミナーとは

一般社団法人日本演出者協会が、演出家が戯曲を読み解き、演出の方法を探るために企画した研修で、日本近代戯曲の総括及び現代戯曲の研究に野心的に取り組む研修でもあります。

作家 清水邦夫【劇作家、演出家。1936年11月17日、新潟に生まれる】

早稲田大学第一文学部演劇科在学中に初戯曲『署名人』を発表。卒業後、岩波映画に入社。1965年に退社。劇団「青俳」などに戯曲を提供する。蜷川幸雄と「現代人劇場」を結成し、新宿文化劇場を拠点に活躍する。「櫻社」を経て、演劇企画グループ「木冬社」を主宰(2006年活動休止)。反体制的な若者の怒りと挫折をエネルギーに描いた前期作品、年齢を経た男女が喪われた時を追いかける後期作品。いずれにも演劇への愛情と情熱、そして詩情にあふれた劇構成にあふれている。女優へのリスペクトと言える『楽屋』は、おそらく現在最も多く上演される戯曲だろう。主要作品:『狂人なおもて往生をとぐ』、『ぼくらが非情の大河をくだるとき』(岸田戯曲賞)、『とりあえず、ポレロ』等。

作家 秋元松代【劇作家。1911年1月2日、横浜に生まれる。(2001年4月24日没)】

戦後、友人の紹介で三好十郎の戯曲研究会に入り、劇作を始める。初期作品には、女性の能力を認めない封建的な家族・社会制度への強い反発があり、ジェンダー思想の先駆けといえる。民間放送の開始とともにラジオ・テレビドラマの執筆を始め、多くの賞を受ける。ドラマを戯曲に発展させた作品は多い。『村岡伊平治伝』など「からゆきさん」を取り上げた作品群では、国家に翻弄された地方の女性たちに目をそそぐ。その姿勢は、民間伝承に材を採り、力強く美しい「方言」を駆使した、『常陸坊海尊』など、熟成を示す優れた作品に結実した。また、蜷川幸雄演出による『近松心中物語』では大衆的な評判を得た。主要作品:『礼服』、『アディオス号の歌』、『かさぶた式部考』、『きぬという道連れ』等。

講師 森下昌秀(戯人舎)【「清水邦夫」シンポジウムゲスト講師 / 公開稽古 & ディスカッション講師】

72年から関西芸術座。75年、つかこうへい『出発』が初演出。以降、ピンター、北村想、清水邦夫、創作劇を演出。88年から戯人舎。オペラ『蝶々夫人』『こうもり』、吉本新喜劇から清水邦夫、太田省吾、別役実、泉鏡花、近松門左衛門、シェークスピアなど多岐にわたるも、2001年以降は『楽屋』『なぜか青春時代』『とりあえず、ポレロ』『タンゴ・冬の終わりに』など清水邦夫作品のみを演出。

講師 山縣照(神戸大学名誉教授)【「秋元松代」シンポジウムゲスト講師】

美学者、神戸大学名誉教授。1938年、和歌山に生まれる。東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。69-72年、フランス政府給費留学生としてパリ第10大学に留学する。神戸大学文学部教授として学生を指導し、2001年退官。続いて、大阪芸術大学で文芸学教授、学部長、大学院芸術研究科長を勤め、2017年に退任。『劇作家サルトル』(作品社2008)、『ノイズの位相と映像表現—高倉健主演『幸福の黄色いハンカチ』(2017)他、著書、翻訳書多数。

講師 キタモトマサヤ【公開稽古 & ディスカッション講師】

遊劇体主宰・演出家。たまに劇作、ごくたまに俳優もやる。和泉山脈の麓に住んでいるからというわけではありませんが、泉鏡花オリジナル戯曲全作品上演に挑戦中。残すところ4作品。大阪女優の会(2009、2010)、大阪現代舞台芸術協会プロデュース公演(2009)、桃園会(2009)、国民文化祭・京都2011「現代演劇の祭典」プロデュース公演(2011)、大阪劇団協議会フェスティバル45周年記念合同公演(2018)など劇団外の演出多数。

公開稽古&ディスカッション 参加者募集!

14:00~17:00 清水邦夫「署名人」 演出:南出謙吾 講師:森下昌秀

18:00~21:00 秋元松代「ことづけ」 演出:森本洋史 講師:キタモトマサヤ

2020年2月9日(日) 参加費 無料 会場:未来ワークスタジオ

■お問い合わせ・お申込み先

一般社団法人日本演出者協会 関西ブロック事務局
担当者名:金子順子
住所:〒536-0007 大阪府大阪市城東区成育1丁目4-25(劇団未来気付)

TEL:090-9624-7396
(コズミックシアター)

mail:kansai_block@gmail.com